

# エコアクション21

## 2014年度 環境活動レポート

2014年4月～2015年3月

2015年7月24日 作成



# 1.環境方針

## 基本理念

集塵装置株式会社は、“製品やサービスを通じて、お客様にクリーンな環境を提供し、選ばれる企業を目指す”を経営理念に掲げております。地球温暖化など深刻化する環境破壊が人類の最重要課題であると認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

## 基本方針

集塵装置株式会社は、製造・販売・保守に関わる全ての活動、製品、及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進していきます。

- 1 省エネ・省資源型装置販売の開発・改良・提案・販売に努めます
- 2 環境関連法規を遵守します
- 3 資源・エネルギー（電気、化石燃料、水、紙）の削減に取り組みます
- 4 廃棄物の排出抑制に努めます
- 5 グリーン購入の推進に努めます
- 6 これらを全ての社員に周知し、環境意識の向上をはかります

2015年  
集塵装置株式会社  
代表取締役社長 丸山宏樹

## 2.事業活動の概要

### (1)事業所名及び代表者氏名

集塵装置株式会社

代表取締役社長 丸山 宏樹

### (2)所在地

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2丁目6番8号

### (3)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 丸山 宏樹

エコアクション21担当者 総務部 石亀 政世 光野 綾希

連絡先 電話 03-3938-3711 FAX 03-3938-3716

### (4)事業内容

集塵装置、公害防止装置の設計・製造・販売・保守

建設業許可番号 東京都知事許可(特-22) 第29193号

東京都知事許可(般-22) 第29193号

古物商許可番号 東京都公安委員会許可 第305591208074号

### (5)事業の規模

平成26年度売上高 6億円

従業員数 23名

資本金 70,000,000円

### 3.環境目標及び環境活動の内容

(1)環境負荷削減目標数値

作成日	承認	作成者
2015年4月28日	丸山宏樹	丸山宏樹

項目	単位	2011年度実績(基準値)		2013年度実績		2014年度目標		2014年度実績		2015年度目標	
		2011/4~2012/3		2013/4~2014/3		2014/4~2015/3		2014/4~2015/3		2015/4~2016/3	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	85,863	基準値比	-13.43%	基準値比	-1.88%	基準値比	-19.22%	基準値比	-2.17%	
			74,328		84,250		69,362		84,000		
電気使用量	kWh	76,293	基準値比	-14.96%	基準値比	-1.69%	基準値比	-18.42%	基準値比	-2.35%	
			64,876		75,000		62,242		74,500		
ガソリン使用量	ℓ	15,783.3	基準値比	-19.15%	基準値比	-17.51%	基準値比	-42.63%	基準値比	-4.96%	
			12,760.4		13,020.0		9,055.3		15,000.0		
軽油使用量	ℓ	3,067.2	基準値比	24.79%	基準値比	43.78%	基準値比	90.86%	基準値比	-3.82%	
			3,827.6		4,410.0		5,854.2		2,950.0		
灯油使用量	ℓ	1,553	基準値比	-14.94%	基準値比	-3.41%	基準値比	-23.31%	基準値比	-6.63%	
			1,321		1,500		1,191		1,450		
ガス使用量(都市ガス)	Nm <sup>3</sup>	867	基準値比	-34.83%	基準値比	-5.42%	基準値比	-38.29%	基準値比	-7.73%	
			565		820		535		800		
ガス使用量(アセチレンガス)	kg	21.6	基準値比	0.00%	基準値比	-2.78%	基準値比	-100.00%	基準値比	-5.09%	
			21.6		21.0		0.0		20.5		
総排水使用量	m <sup>3</sup>	547	基準値比	-10.79%	基準値比	-3.11%	基準値比	-14.08%	基準値比	-4.94%	
			488		530		470		520		
化学物質使用量	kg	230.1	基準値比	-60.06%	基準値比	-4.39%	基準値比	-43.81%	基準値比	-6.56%	
			91.9		220.0		129.3		215.0		
産業廃棄物排出量(リサイクル含)	t	24.2	基準値比	-35.95%	基準値比	-2.89%	基準値比	5.37%	基準値比	-4.96%	
			15.5		23.5		25.5		23.0		
一般廃棄物排出量	t	1.2	基準値比	-25.00%	基準値比	-16.67%	基準値比	-33.33%	基準値比	-16.67%	
			0.9		1.0		0.8		1.0		
省エネ・省資源型装置の開発・改良・提案・販売	件	データ無し	基準値比	—	基準値比	—	基準値比	—	基準値比	—	
			12		15		6		20		
紙の使用量	枚	140,000	基準値比	-1.43%	基準値比	-1.79%	基準値比	-1.79%	基準値比	-2.86%	
			138,000		137,500		137,500		136,000		
グリーン購入量	¥	データ無し	基準値比	—	基準値比	—	基準値比	—	基準値比	—	
			4,738,450		400,000		212,948		500,000		

◆二酸化炭素排出係数:0.464kg-CO<sub>2</sub>/kWh(平成23年度)

## (2) 環境活動の内容

### 1. 二酸化炭素排出量(電気)の削減

- 昼食時の消灯を徹底する
- トイレ室内の蛍光灯の節電(男女分ける)
- コピー機、一台削減
- 事務棟玄関ガラスに遮熱・断熱対応はかる

### 2. 二酸化炭素排出量(ガソリン)の削減

- アイドリングストップを徹底する(社内掲示、教育)
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導

### 3. 二酸化炭素排出量(軽油)の削減

- アイドリングストップを徹底する(社内掲示、教育)
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導

### 4. 二酸化炭素排出量(灯油)の削減

- ウォームビズを推奨する
- ストープをつけっぱなしにしない

### 5. ガス消費量(都市ガス)の削減

- 夏場、給湯器の使用を控える
- 風呂場の給湯設定温度を低くする

### 6. 総排水量の削減

- 5月～10月の使用をシャワーにする(入浴は控える)

### 7. 化学物質使用量の削減

- 在庫の見直しによる購入量の抑制

### 8. 産業廃棄物排出量の削減

- リサイクル排出量(端材等)の再々利用する
- 収集場の廃棄物(一般・産廃)区分をはっきりとする

### 9.一般廃棄物排出量の削減

- アスクル梱包材の業者引き取りを継続する
- 使用済みカップ麺容器を圧縮し、廃棄をおこなう
- シュレッダー紙ごみのリサイクル業者回収の検討

### 10.省エネ・省資源型装置の開発・改良・提案・販売

- 引き続き、顧客提案書に環境指数による提案をおこなう
- エネルギー関連の資格取得推奨する

### 11.紙の使用量の削減

- コピーの複数枚印刷は、両面又は縮小印刷等を用いる
- コピー機、一台削減
- 社内資料の小型化(A3からA4)

### 12.グリーン購入の推進

- 一般購入品のグリーン購入への切り替えの調査と検討
- 業務用購入品のグリーン購入への切り替え調査と検討

## 4.環境負荷の実績及び環境活動取組評価

項目	単位	基準年度	期間目標	期間実績	評価	
		2011.4～2012.3	2014.4～2015.3	2014.4～2015.3		
二酸化炭素排出量	kg-CO2	85,863	84,250	69,362	コピー機一台減らした事や消灯の徹底等によりCO2削減量が大きく減少し満足している。	
内 訳	電気使用量	kwh	76,293	75,000	62,242	着実に数値が減少出来たので、満足出来た。未だ無駄がないか、検討を重ねる。
	ガソリン使用量	ℓ	15,783.3	13,020.0	9,055.3	車両台数変更により、数値がまとまらなかった。
	軽油使用量	ℓ	3,067.2	4,410.0	5,854.2	車両台数変更により、数値がまとまらなかった。
	灯油使用量	ℓ	1,553	1,500	1,191	満足できる水準であった。温度によってストーブ使用の是非を考えることも検討。
	ガス使用量 (都市ガス)	Nm <sup>3</sup>	867	820	535	満足できる水準であった。将来的には風呂場の改造にて、ガス使用量に対応したい。
総排水使用量	m <sup>3</sup>	547	530	470	満足できる水準であった。将来的には風呂場の改造にて、排水量減少に対応したい。	
化学物質使用量	kg	230.1	220.0	129.3	満足できる水準であった。在庫に直しによって購入のバラつきはあるが、目標値を大きく下回る事が出来た。	
産業廃棄物排出量 (リサイクル含)	t	24.2	23.5	25.5	イレギュラーなければ、達成出来た。工場周辺の緑化に努めた為、廃棄物が増加し、目標値をクリア出来なかった。	
一般廃棄物排出量	t	1.2	1.0	0.8	満足できる水準であった。紙ごみリサイクル業者の選定を再考する。	
省エネ・省資源型装置 の開発・改良・提案・販売	件	データ無し	15	6	件数的にはもっとあってもいいのだが、不満足な結果であった。次年度からの作成方針を技術営業部長と検討する。	
紙の使用量	kg	140,000	137,500	137,500	期末で多くの紙が発生してしまった。なるべく提出資料の削減に努めるよう、今後も意識づける。	
グリーン購入	件	データ無し	400,000	212,948	金額での目標設定では無理がありそうなので、再検討。次年度からは円単位ではなく件数単位で目標設定する。	

## 5. 2015年度取組み内容

前項(第4項)①～⑫の取組みを継続する。

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- (1)環境関連法規の遵守状況を自らチェックし、違反はありません。  
(主な環境法規等： 廃掃法・消防法・東京都環境確保条例)
- (2)関係当局からの違反の指摘は、過去3年間ありません。
- (3)訴訟も、過去3年間ありません。

## 7.代表者による全体評価と見直しの結果

平成25年(2013年)4月から環境活動を開始しました。

今年度は、2011年度(2011年4月～2012年3月)基準年と比較すると、CO2排出量が20%近く減少出来たことが良かった点であります。

特に紙の使用量とグリーン購入量については、目標達成には一層の努力と工夫が必要であると感じております。

今後、電力使用量は、業務との兼ね合いもあり、多忙であれば使用量増加になるので悩ましいところです。

定期的に社内ミーティングをおこない、皆の意見やアイデアを取り入れ、一層のレベルアップを期したいと思っております。